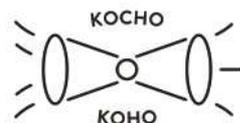


fall in
南人無
フォーリンナム



あなたに聞きたい聞かせたい
広聴広報室

名古屋教区 教化委員会

伝えれ! この想い

2021.
07.01
vol.

02



こころ 湧く湧く
—夏の宿題をさがしに—

ご案内 イベント・講座のご案内

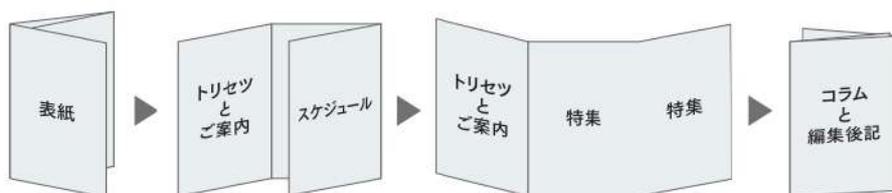
コラム 縁の中の力もち 人形劇団「JIREN」



トリセツ 本誌の取り扱い説明

- 1 本誌では、別院境内で開催される各種事業(公開講座・研修等)を掲載しております。将来的に、別院境内のみならず尾張地域の事業の掲載も目指します。
- 2 毎号特集では、テーマを決めてより深く様々な事業について紹介いたします(下図参照)。
- 3 表紙裏ページには、トリセツと特集以外のイベント・講座を掲載いたします。
- 4 スケジュールページには、開催が予定されている主な教化事業を掲載いたします。講座・行事の開催日時はこのページでご確認ください。
- 5 表紙裏にはコラムと編集後記を掲載いたします。
- 6 是非持ち歩いていただいて、別院にお参りください!

✳️ 新型コロナウイルスの感染拡大状況により、各種事業が中止あるいは延期となる可能性があります。最新情報は東別院ホームページ(お東ネット)にて掲載いたしますので、ご参加の前にご確認ください。



INFORMATION

ご案内

暁天講座

開催場所：本堂

今年は8月1日(日)から5日(木)にかけて、晨朝のお勤め後、本堂にて開催されます。宗派内にとどまらず、各界の著名な講師にお話を伺います。聴講無料。

歓喜会(お盆)夜間参拝

開催場所：本堂・境内

今年は8月13日(金)から15日(日)にかけて、午後9時まで境内をライトアップし、本堂にもお参りいただけます。

秋季彼岸会

開催場所：本堂・境内

今年の秋のお彼岸は9月20日(月・祝)から26日(日)です。期間中、毎日午前10時半、午後1時からの2回、本堂にて法話があります。また、20日、23日、26日には午前9時より本堂にて彼岸会法要が勤まります。

境内には様々な露店が並びます。

境内図 各イベントの開催場所はこちらをご参照ください。



EVENT SCHEDULE

スケジュールノレ



7月～9月

(2021年7月1日現在)

分類	事業名	概要	該当月			時間
			7月	8月	9月	
教化伝道	定例法話		毎月5～28日開催			9:30～ 11:10～ 13:00～
	信道講座	年12回	11日	8日	12日	10:00～
	真宗門徒講座	年10回	27日	-	8日	14:00～
教化センター	聖典研修	随時	12日		14日	18:00～
社会事業	現代問題ラボ	随時	-	-	-	随時
	東別院子ども広場	日時未定	-	-	-	-
	東別院子ども自然教室	年3回	-	-	-	随時
	東別院子どもカフェ	随時	-	-	-	随時
企画・広報	縁市一如さん		毎月12日開催			-
	東別院暮らしの朝市		毎月8・18・28日開催			10:00～
	暁天講座・はやおき鳥	年1回	-	1～5日	-	-
	御坊夏まつり	年1回	-	中止	-	-
	歓喜会 夜間参拝	年1回	-	13～15日	-	～21:00
教区	秋季彼岸会	年1回	-	-	20～26日	-
	尾張講習会	年1回	5～9日	-	-	14:00～
	前任職前坊守懇話会公開講座	年1回	16日	-	-	14:00～
	解放運動推進要員研修	年5回	-	-	-	16:00～

お問い合わせ先(上記の色順で表記しています)

名古屋別院教化伝道部	TEL:052-331-9578
■名古屋教区教化センター	TEL:052-323-3686
■名古屋別院社会事業部	TEL:052-331-9576
1名古屋別院(代表)	TEL:052-321-9201
1名古屋教務所	TEL:052-331-2468

各種事業の日時・詳細は、東別院ホームページ(お東ネット)や『名古屋御坊』にて掲載いたしますので、ご参加の前にご確認ください。



東別院ホームページ
(お東ネット)

東別院こども広場

「別院をもっと身近に感じてもらえるように」という願いのもと、2014年からはじまった「東別院こども広場」。パンづくり体験や工作、宝探しゲームといった様々な催しを楽しむ行事です。お一人での参加も、親子やお友達との参加も大歓迎です。

はやおき鳥

暁天講座期間中(8/1~5)に同時開催している、小学生を対象とした行事です。お勤めのお稽古や夏休みの宿題などをする学習会を行っています。最終日には皆で一緒にお勤めをしたり、紙芝居などのお楽しみ会も開催しています。

東別院子ども自然教室



自然の中で鳥笛を奏でる子どもたち

「都会の子どもたちに自然に触れる機会を与えたい」という願いから1973年に始まりました。年に4回催される夏キャンプでは、小学校4年生以上の40人ほどが2泊3日をともに過ごし、1年生以上の日帰り教室では芋ほりや栗拾いなどを楽しめます。これらの企画運営のすべてを学生ボランティアが担っており、この自然教室は子どもを対象にしながら、青年層の育成も目指しています。参加する子どもにとっても学生ボランティアにとっても意義のある活動となっています。

※本年度の開催は未定です。



トーチでキャンプを盛り上げる学生ボランティア

東別院こどもカフェ

地域の子子どもたちが東別院に集まって、食事をともにすることで、別院が居心地のよい場となることを願って開催しています。最近では新型コロナウイルス対策として食事をテイクアウトで提供する青空こどもカフェを実施中です。

子ども報恩講

東別院を会場にした子ども対象の「報恩講」を行っています。報恩講とは親鸞聖人のご命日を機縁としてお勤めする大切な行事です。お勤めの他、境内での遊びや餅つき、人形劇などが催されます。本年度は10月9日(土)に開催予定です。



御坊夏まつり

毎年8月下旬の土日2日間で開催しています。東別院近隣の伊勢山四学区(橘、平和、正木、松原)や別院関係団体の協力のもと、盆おどり、ステージイベント、飲食・物販屋台、無料で遊びや体験ができるキッズ福祉ブースなど、来場者に楽しんでいただける内容が盛りだくさんです。



大いに盛り上がる盆おどり

ごぼうこども新聞



幼稚園から小学生向けの仏教新聞です。仏教や社会に関する特集のほか、クイズ、物知りコーナー、クラフトコーナーなど、子どもだけでなく大人も一緒に楽しんでもらえる内容が充実しています。寺院などでもぜひ活用ください。

児連夏のつどい

毎年8月下旬に、1泊2日で開催されています。子どもたちにとって、仏さまの教えにふれて、いのちの尊さ、かけがえのなさを、ともに学ぶ場になることを願いとしています。普段は塾などで忙しい子どもたちに、お寺で楽しく過ごしてもらおうと、毎年テーマを決め、児童教化連盟のお兄さんお姉さんと遊ぶ、盛りだくさんな企画で開催されています。※本年度の7月11日(日)は中止となりました。



トラックプールで水あそび



本堂で法話を聞く子どもたち

東別院初まいり

毎年4月の第1日曜日に行っています。「誕生児」の初めてのお参り、「入園」「入学」「成人」など人生の節目にお寺にお参りしましょう。お参りを通して仏様の教えに出会う大切な仏縁です。

なか 縁の中の力もち

真宗大谷派名古屋教区児童教化連盟(以下、児連)では、人形劇団「JIREN」の活動を通して子どもたちが仏教に触れる場を広げています。今号では、人形劇巡回スタッフとして活動する滝恒さんと小塚真さんにお話を伺いました。

一人形劇団「JIREN」に関わった経緯や人形劇について教えてください。

滝:児連スタッフとして活動していた先輩僧侶に誘っていただき、東日本大震災の被災地で人形劇をしたのが私にとって最初の公演でした。現在「JIREN」では10人ほどの巡回スタッフが4、5人のチームを組み、お寺での花まつりや夏休みの子ども会などに伺わせてもらっています。公演時間は30分ほど。仏典童話や絵本をベースとした7つの演目を年毎にサイクルしています。

小塚:人形劇といっても年に1度、何かの行事で公演する程度と思っていましたが、年間40カ寺ほどのお寺を巡回していると知って驚きました。使用する人形も自分たちで製作をされていて、こんなお坊さんたちがいることにびっくりしました。

一人形劇って難しそうですが…

滝:まさか自分が人前で何かを演じるとは思ってもみなかったの、恥ずかしさもありました。僕はストレートな表現をする子どもたちが少し苦手で、どう接しているのかわかりませんでした。でも児連に入って「こうやって子どもたちと遊べるんだ」と学び、今は人形劇での反応が嬉しくて楽しんでやっています。

小塚:当初は「何かしてあげなくちゃ」と思ってあれこれと考えていましたが、子どもたちは自然体で接してきます。子どもたちに身を委ねて、こちらが無理に作らなくていいことに気づきました。

一青少年活動で大切にしていることはありますか？

滝:仏典童話を通して子どもたちに仏さまの教えに触れてもらうことも大切ですが、人形劇をツールとして子どもたちと楽しい時間をともにし、「お寺に来て楽しかったなあ」という思い出が子どもたち



に残ってほしいと願っています。

一最後に皆さんにメッセージを!

小塚:巡回をしていると、お寺ごとにいろいろな工夫を凝らしていることがわかります。そこに何らかのお手伝いができれば嬉しいです。お寺の方々と知り合う接点が無かった私にとって、子どもたちのための場所が私自身の居場所にもなっていました。そういった「みんなの居場所」がもっと広がっていくといいなと思います。

滝:僕ら自身も子どもたちと一緒に楽しんでます。必ずしも子どもだけじゃなくて、いろんな方に人形劇を見て楽しんでほしいです。現在はコロナの感染防止のために巡回を休止していますが、今後動き出せるようになったら新たな仲間へ児連に入ってほしいですし、一緒に楽しく学びたいですね。

一ありがとうございました。

プロフィール profile



たき ひさし
滝恒 (写真左)

浄光寺(第13組・津島市)所属。
2011年頃から児連スタッフとして活動。
特技は人形作り。

こづか まこと
小塚真 (写真右)

西生寺(第21組・名古屋市中川区)所属。
2014年頃から参加。

お問い合わせ先: 052-331-2468 名古屋教務所(担当:河田)



編集後記

スケジュールの中止や変更により振り回され、広報誌作成に右往左往しながらの発刊となりました。今号は7月の夏休み前の発刊となりますので、特集は別院境内で開催される子どもを対象とした事業にスポットを当てました。もちろん別院は開かれた場所ですので年齢に関係なくお越しいただけたらありがたいです。(h)

発行日: 2021年7月1日
発行人: 小林 斉(真宗大谷派名古屋教区 教化委員長)
発行所: 真宗大谷派名古屋教区 教化委員会 広聴広報室
所在地: 〒460-0016 愛知県名古屋市中区橋2丁目8-55
TEL: 052-331-2468 FAX: 052-321-5845
nagoya@higashihonganji.or.jp
広報誌ロゴデザイン: 株式会社レンズアソシエイツ
表紙/特集デザイン: カザミドリデザイン

詳しくはWEBをご覧ください。
<https://www.ohigashi.net/>

お東ネット



千鶴ちゃんとアヤちゃん